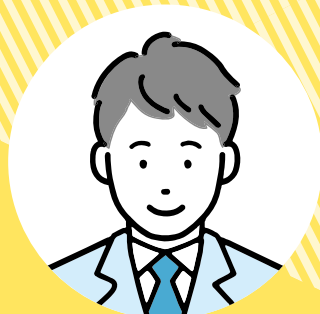
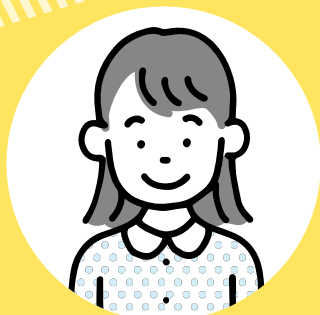




Newspaper in Education



第5回 NIE教育フォーラム



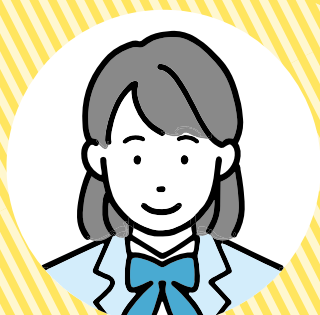
主権者教育の これからと



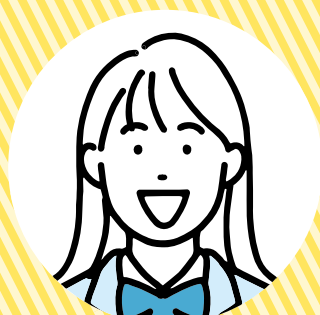
NIEの可能性



成年年齢の引き下げ目前!

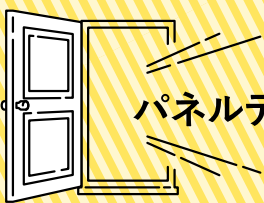


2022年 2月26日(土)
午後1時30分～3時(90分)



オンライン形式(Zoom)

参加費：無料



パネルディスカッション

- パネリスト
- 鈴木 謙介 (関西学院大学准教授)
 - 藤井 剛 (明治大学特任教授、元日本新聞協会 NIEアドバイザー)
 - 小泉のの花 (ivote* 副代表 / 中央大学法学部1年)
*「政治と若者のキョリ」を近づけることを目標に活動する学生団体

司 会 関口 修司 (日本新聞協会 NIEコーディネーター)

〈敬称略〉

主権者教育の これからと NIEの可能性

成年年齢の引き下げ目前!

2016年の18歳選挙権が適用から5年。今春には成年年齢が18歳に引き下げられ、高校では新設科目「公共」が必修になります。社会の一員として様々な課題について学び、考えを深める主権者教育の重要性が高まっています。本フォーラムでは、主権者教育のあり方や小中高校の授業に取り入れる際のポイント等について、若者文化や教育に詳しい方々を招きパネルディスカッション形式で議論を深めます。

パネリスト



鈴木 謙介 (関西学院大学准教授)

専攻は理論社会学。情報化社会の最新の事例研究と、政治哲学を中心とした理論的研究を架橋させながら、独自の社会理論を展開。現代社会の様々な問題についての発信も多く、若者、メディア文化から国際関係まで多様な分野をカバーしている。著書に『カーニヴァル化する社会』(講談社)、『サブカル・ニッポンの新自由主義』(筑摩書房)など。



藤井 剛 (明治大学特任教授、元日本新聞協会NIEアドバイザー)

千葉県公立高校勤務を経て、2015年より現職。専門は、教科教育法。現在、主権者教育や新科目「公共」の授業作りなどを研究している。主権者教育の副教材「私たちが拓く 日本の未来」(総務省・文科省)の作成協力者。主著に『主権者教育のすすめ』(清水書院)など。



小泉のの花 (ivote* 副代表/中央大学法学部1年)

高校在学中の2020年8月にivote入会、翌年1月に事務局長、3月に副代表就任。21年4月から中央大学法学部政治学科に在学。

*「政治と若者のキョリ」を近づけることを目標に活動する学生団体

司会



関口 修司 (日本新聞協会NIEコーディネーター)

東京学芸大学を卒業後、東京都公立小学校教員として勤務。1991～2007年には群馬大学教育学部の非常勤講師も兼任。都内3校で校長を務め、16年4月より日本新聞協会NIEコーディネーター。

〈敬称略〉

申し込み方法

参加ご希望の方は

① 新聞協会 NIE ウェブサイト (<https://nie.jp>)

または

② 右記QRコード

からお申し込みください。後日、招待メールをお送りいたします。

申し込み締め切り：2月24日(木)

※いただいた個人情報は、本フォーラムの招待メール発送や運営の目的以外には使用いたしません。

